



三木高大 自治会新聞

令和6年5月号 (No. 184)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 尾上 勸
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 2024年(令和6)5月21日

<http://koureisyaigaigaku.cccp.jp>

自治会会長挨拶

一絆を深め、思い出を創ろう

学生自治会会長に就任しました尾上です。

自治会総会の挨拶でお話したように大学としての生徒数もコロナ感染拡大の前に戻りつつあり、「絆を深め、思い出を創ろう」を本年度のスローガンといたします。具体的には、大学の講座学習により習得した知識は、仲間や家族と大いに語り、知恵に変え、クラブ活動や自治会行事で楽しさを補足するものとなれば良いのではないかと考えています。

本年度の自治会活動は、大学院及び大学OB(学友会)の方と一緒に取り組む恒例の秋の「グラウンド・ゴルフ大会」と、全てのクラブが中心となり1年間の成果を披露する2月の「大学祭」を開催するほか、「清掃活動(年2回)」を実施します。また定期的に発行する自治会新聞も充実させていきます。

一方、三木市主催の「みっきい夏祭り」での清掃ボランティア、「みずほ交流キャンプ」での子供たちと一緒に遊ぶことも計画しています。

皆さん、今年は、自治会が何かしてくれるかではなく、自分は自治会に何が出来るかを考え行動し 気付いた事があれば積極的に発言し、一人一人思い出に残る一年にしましょう。そしてわが高齢者大学を地元地域に密着した素晴らしい「みっきいシニアカレッジ」にしていきませんか！

自治会会長 3年2班 尾上 勸



高大に入学して

「肩の力を抜いて」

私が三木市高齢者大学を知ったのは、三木市の広報誌でした。少し仕事としてアルバイトはしていますが、空いた時間が結構あり、それじゃ行ってみようと思い決心しました。

直ぐに入学願書を書き速達で送った為、一番早かったそうでした。入学式の時、新入生代表の宣誓を指名されました。久しぶりに良い緊張感を持って壇上に上がった次第です。入学説明会と入学式が終わり、4月18日は初めての登校日でした。驚いたのが多数の先輩方が結構長く学校に通っている事、それだけ学校に魅力があるのかもしれないね。

長い年月学校に通える事は、健康面にとっても良いことだと思いました。今後は、どのクラブ活動をするか、自分なりに検討し決めていきたいと思っています。又、教養課程の勉強や、園芸学科での知識の向上を目指して肩の力を抜いて無理しないよう頑張らずに高大に通いたいと思います。

若輩者ではありますが、先輩の皆様、事務局の皆様、お手柔らかなによりしくお願い申し上げます。

1年3班 尾方 一也



新入生を迎えて

三木市高齢者大学
学長 井上 京子

募集中は、入学者が何名だろうかと期待と心配の日々でした。34名と聞きホッといたしました。常に学ぶ姿勢を持たれ入学・再入学された皆様に敬意を表します。

「みっきいシニアカレッジ」は「仲間との絆を深める場」「楽しく達成感のある学びの場」です。健康で元気に楽しい学校生活を過ごしていただきたいです。また、大学ですから生きがいと教養を高める場でもあります。

そこで“教養がある人とは”を5つにまとめました。

- 1 一つの分野に限らず、幅広い分野の知識を持っていると言えるでしょう。
- 2 幅広い知識の上に成り立つ論理的で柔軟な考え方ができる人だと思われます。
- 3 説明や会話が上手い、場面や相手に合わせた会話ができる。日常会話でも相手が楽しめるテーマや知らない知識を上手く話すことができる人でしょう。
- 4 相手に敬意を示したり気遣ったりすることで、社会生活を潤滑に送ることができるマナーが身に付いている人でしょう。
- 5 教養のある人は相手を思いやることや向上心があることから、謙虚である人が多いようです。

書きながら自分自身が恥ずかしくなりましたが、講座や学校生活を通して皆様が既に身に付けておられる教養を更に高めていただけるよう取組んでいきたいと思ひます。



学年通信(4年生)

「小回りを生かして」

こじんまりとした我学年は小回りが利いて即断即決、いろいろ出来ます。昨年下半年の取り組みを少しご紹介。

秋の研修旅行は学年単独で一般のバスツアーに申込み、秋深まる紅葉の大和路を早朝から夕方まで楽しむことにしました。談山神社、長谷寺など「大化の改新」にまつわる歴史ある場所で、旅程・食事など一切心配せず、思う存分古都の歴史を探訪できました。もちろん往復のバスでは、おしゃべりも延々と続き、よい修学旅行のシミュレーションができたと思っています。

そしてその次、年末なので餅つきはどうだろう、という話が出て、石臼のある個人の家でやれないか、公民館か高大の教室を借りて石臼持ち込みでやろうか、など皆でワイガヤ。

結局、年齢的に石臼を運ぶのは危ないのではということで、餅つき機を持ち寄って、高大で「忘年餅つき会」を行うことにしました。

年末も押し寄せまった12月27日、高大の最終日に皆で調理室をお借りして、餅つき&トン汁&ぜんざいの忘年食事会。もちろんみな手分けしての料理・片付けで、楽しく思い出多い年末になりました。

今年はいよいよ最終学年、修学旅行が待っています。昨年予行演習も済ませたのでまともな一般ツアーを利用した修学旅行を計画中です。



4年 積山 喜規

ひろば(1)

「アレがなかったら」

今から、45年前の出来事です。当時私は未熟で、職人としての腕もなく、ただ毎日を送っていました。唯一の友達、工務店を営んでいた人の助言で、新聞の広告欄に「造園工事の見積・施工をします。青葉園」で出して見ることにしました。

すると、どうでしょう。ある日電話がかかって来て「見積りをしてくれますか？」と言う話でした。さっそく、神戸市北区のまだ塀も門も出来ていない大きな家に行きました。

見せてもらった書類には他社の見積があり、見積金額が1,200万円で、この家のご主人はある会社の社長、というようなことが書かれてありました。ご主人からは「青葉園では、この図面通りで工事して幾らで出来るか？」と聞かれ、勿体ぶりながら、「当方では頑張っ

て1,000万円でやらせていただきます。」と答えました。すると、ご主人は直ぐに、「では、青葉園さんをお願いでしょうか？」と。内心はそれを聞きたかったのです。「ありがとうございます。建築、造園関係では、着手金、中間金、完了後の残金、こう言うシステムになっています。」とすかさず言いました。

お客様の了解を得て1週間後、着手金の400万円を頂き、その足で2トングの中古車と道具を買い、工事に取り掛かりました。

この先が重要なところで、まだまだ先をお話したいけど、アレがなかったら今の私はないでしょう!!



2年3班 岸本 光乗

ひろば(2)

「これからも元気で」

歩くこともなく家でテレビを見ている日々、山に登っても息切れして途中休憩です。何とかしなければ....。バドミントンに誘われて週に一回参加していましたが、高齢者大学の入学も勧められ入学しました。今年からバドミントンクラブに入って、週2回練習していると思っています。クラブの役員になって資料を作成しないといけなくなり、今年から情報学科に入ってパソコンの勉強を始めます。70才からの挑戦です。

4月に3年生の研修旅行に行きました。桜華園は山の斜面に桜が植えられていて満開でした。展望台まで行かず途中で引き返しましたが、わらびを取りながら歩いて楽しかったです。

辻川公園では、池の中から有名なカッパが出て来てびっくりしました。その後、山の上まで登ることが出来たので、体力もついてきています。メタボにならず健康でいる事がいちばんです。

今の楽しみは桐蔭吹奏楽部の演奏を聞きに行くことです。高校生の孫が出ているのですが、とても上手でファンになって追いかけています。年間5回程行き、観光も少しできて満足している今日この頃、これからも元気でいられるよう願っています。



(前列右から2人目が筆者)
3年2班 神吉 恭子

令和6年度 自治会総会の報告と新役員紹介

この春、新に34名の新入生を迎え、久しぶりに学生数が三桁の総勢104名で令和6年度大学生活のスタートが出来ました。

また、今年度も、去る4月18日の自治会総会にて各議事の審議があり、すべての議案が承認されましたので以下にご報告させていただきます。



- [第1号議案] 令和5年度活動/決算/会計監査報告について
- [第2号議案] 自治会規約改定について
- [第3号議案] 令和6年度新役員の選任について
- [第4号議案] 令和6年度活動計画/予算案について

[令和6年度自治会役員]

会 長	オノエ 尾上	ススム 勸	(3年)		
統括総務	アラキ 荒木	ノリタケ 則武	(3年)		
会 計	タナカ 田中	ヒロユキ 裕行	(2年総務 兼務)		
監 事	フクイ 福井	カズフミ 一史	(3年)		
学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	
副会長	※	ヤスフク 安福	ヒロシ 浩	カワイ トシロウ 河合 敏郎	ナガタ スズエ 永田 鈴江
学年総務	※	タナカ 田中	ヒロユキ 裕行	アマノ シズコ 天野 至寿子	ツミヤマ ヨシノリ 積山 喜規

※1年生役員は、学年内で互選した後に役員会の承認を得て告知します(5月末予定)

また、今回の自治会規約の改定は、役員選任の条件を緩和して年々変化する環境に柔軟な対応をするためです。新役員一同、自治会活動をより活発により楽しく行い、会員の意見を反映させて活動内容の充実を図っていきます。皆さま方のご協力をよろしくお願いいたします。

統括総務 3年3班 荒木 則武